

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	菅原大地	所属	人間系
研究会等名称	ポジティブ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 22名（うち認定心理士 2名） 非会員 25名（うち認定心理士 2名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>成果① 実施内容：日本心理学会 85 回大会公募シンポジウムでの発表 企画名「ポジティブ心理学的介入というソリューション」 日本心理学会の学術大会において、ポジティブ心理学的介入の実践研究をされている 3 名の先生（豊沢純子先生，秋山美紀先生，阿部望先生）にご登壇いただき，指定討論者として島井哲志先生を迎えた。豊沢先生からはポジティブ防災，秋山先生にはポジティブ看護，阿部先生にはポジティブ教育についてお話いただいた。</p> <p>成果：本邦においてポジティブ心理学的介入を実践し，それを研究レベルまで落とし込んでいる研究者が少ない中で，教育，看護，防災という多様な介入研究について紹介することができたのは意義深く，今後の発展可能性も非常に大きい。大会通して，参加者や，視聴予約をしていた人も非常に多く，本テーマに対する関心の高さが伺えた。研究成果を社会に還元していくという，ポジティブ心理学の良さ（強み・魅力）を伝えることができ，今後のポジティブ心理学の実践研究の発展に貢献したと考えられる。</p> <p>将来設計：今後もポジティブ心理学的介入については，シンポジウム，研究会，ホームページ等を利用して，情報を発信し続ける。</p> <p>成果② 実施内容：スラックを用いた研究会の運営 2021 年度から，研究者間で迅速かつ，スムーズに情報共有等ができるようにスラックを用いた研究会の運営を始めた。現在，スラックの研究会への参加者は 19 名となっており，論文や書籍，研究紹介，研究助成等に関して日々，情報共有がなされている。</p> <p>成果：従来通りの研究会に縛られず，自由に情報共有ができるようになったため，研究者間での情報共有が行われやすくなり，国内外で実施されているポジティブ心理学研究について議論する機会が増えた。研究者内での共同研究も活発に行われており，代表者が知る限りで 3 件の共同研究が科研に採択されている。研究に関する情報共有だけでなく，ポジティブ心理学に興味を持つ学生の進路相談や分析の相談なども行われており，ポジティブ心理学研究の若手育成につながっており，順調にポジティブ心理学のすそ野を広げることができた。</p> <p>将来設計：今後もスラックを用いた研究会を行いながら，構成員全員を対象とした研究会も開催していく。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
ポジティブ心理学研究会				
研究集会開催日： 2021年9月1日(水)～8日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	菅原大地 (企画代表者)	筑波大学	○	
2	金子迪大 (企画者)	京都大学	○	
3	島井哲志 (指定討論者)	関西福祉科学大学	○	
4	阿部望 (話題提供者)	大阪大学	○	
5	秋山 美紀 (話題提供者)	埼玉県立大学		
6	豊沢 純子 (話題提供者)	大阪教育大学	○	
7	益田 啓裕	追手門学院大学	○	
8	橋本京子	関西学院大学	○	
9	吉野優香	立正大学	○	
10	山岡明奈	沖縄国際大学	○	
11	八斗啓悟	筑波大学		
12	荒木友希子	金沢大学	○	
13	水野 雅之	東京家政大学	○	
14	※今年度の研究会は、日本心理学会のシンポジウムとして開催した。参加者については後			
15	日、確認をして参加の返信を頂いた者のみを記載した。なお、大会時の視聴予約者は80名			
16	超であった。			
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2022年3月9日

日本心理学会研究会

2021年度会計報告書

研究会名称 ポジティブ心理学研究会

研究会番号 21005

助成金額 ¥15,000

年 月 日	項 目	金 額
2021年9月8日	謝金（秋山美紀先生）	¥13,500
2022年2月1日	間接経費（研究者個人での管理が認められないため寄付金として扱った）	¥1,000
2022年2月17日	シンポジストへの手紙・封筒の一部	¥500
支出合計		¥15,000